

# 『最新 中学校保健体育』 検討の観点と内容の特色

本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布が認められているものです。

## ○教育基本法（第2条）との関連

項目	検討の観点	「最新 中学校保健体育」の特色	具体例
第1～5号	教育基本法第2条各号に示された教育の目標に対し、どのような配慮がなされているか。	●教育基本法第2条に示された教育の目標（第1～5号）に基づき、生徒たちが学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるように、教材内容や学習活動を適切に選定、配列しました。	表紙、教科書全体
第1号	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求めめる態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うための工夫がなされているか。	●課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を展開するために、各章のはじめに「章とびら」、各項目に「課題をつかむ」「学習のまとめ」を設けて、 <b>課題解決の過程を重視した紙面構成を徹底し、真理を探究する態度を養う</b> ようにしました。	口絵9-1「この教科書の使い方」、教科書全体
		●各章のはじめに設けた「章とびら」や章末に設けた「特集資料」では、 <b>中学生の日常生活を中心に多様な教材を随所に配置し、保健体育の見方・考え方を働かせながら幅広い知識と教養をいっそう身に付けやすく</b> するようにしました。	4-5, 12-13, 16-17, 28-29, 58-59, 68-71, 74-75, 92-93, 96-97, 116-117, 120-121, 132-133, 150-151, 154-155, 172-173
		●他者との心の交流や思いやり、人間の生き方、健やかな身体などに触れた「コラム」や「事例」を随所に配置し、 <b>豊かな情操と道徳心を培い、健やかな身体を養う</b> ことができるようにしました。	9, 18, 21, 23, 24, 45, 46, 60, 76, 83, 87, 89, 91, 99, 108, 111, 122, 125, 143, 166
第2号	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うための工夫がなされているか。	●学んだことをさらに広げたり、深めたりするために「クローズアップ」を設けて、多様な個性を認め合い尊重し、創造性を培い、 <b>自主及び自律の精神を養う</b> ことができるようにしました。	54-55, 62-63, 104-105, 126-127
		●学習内容と関連する職業や機関とそこで働く人について紹介し、 <b>勤労を重んずる態度を養う</b> ようにしました。	9「職業としてのスポーツへのかかわり方」、17「中学生の給食を支える人たち」、23「スポーツ選手と食事」など
第3号	正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うための工夫がなされているか。	●男女の区別なく登場人物を取り上げたり、高齢者や障害のある人、外国の人などのかかわりを写真やイラストで紹介したりして、 <b>多様な他者との協働</b> が大切であることを実感できるようにしました。	表紙、教科書全体
		●口絵「共に生きる」では、 <b>書家の金澤翔子さんの題字や様々な人々の生きる姿を通して、自他の敬愛や相互理解、協力を重んずる態度を養う</b> ようにしました。	口絵5-6
		●「学習のまとめ」では、生活における様々な課題や社会の在り方について意見を発表したり、グループで話し合ったりする学習活動を通して、生徒が自ら <b>よりよい社会の形成</b> について考えられるようにしました。	11, 85, 87, 89, 91, 125, 129, 145, 171
第4号	生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うための工夫がなされているか。	●口絵「よりよい未来に向けて」では、 <b>SDGs（持続可能な開発目標）</b> を取り上げて、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。	口絵7-8
		●保健②では、男女の生殖機能の成熟について科学的に理解し、新しい命を生みだすための準備期であることや <b>生命誕生の尊さ</b> が実感できるようにしました。	34-37
		●保健④では、命を守るために必要な安全や防災の内容を充実させました。また、自ら積極的に人命救助にあたることの意義を述べた当事者の言葉を掲載し、 <b>自他の生命の尊重</b> について考えられるようにしました。	96-117
		●保健⑥では、環境の衛生的な管理が健康のために大切であることを理解できるようにしました。また、環境保全のために私たちにできることを取り上げ、 <b>環境保全に寄与する態度を養える</b> ようにしました。	154-173
第5号	伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための工夫がなされているか。	●口絵「オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！」では、東京2020大会が開催されることを取り上げ、日本人選手の世界的な活躍や大会に関わる人々を取り上げ、 <b>国際社会の平和と発展に寄与する態度を養える</b> ようにしました。	口絵1-2
		●体育理論③では、スポーツという世界共通の文化を我が国が積極的に推進していること、また、我が国がアジアで初めてオリンピック・パラリンピックを開催したことを取り上げ、 <b>伝統と文化を尊重し、我が国や郷土への誇りと愛着</b> を持てるようにしました。また、スポーツが民族や国の違いをこえて人々を結びつけることなどを取り上げ、 <b>平和を希求し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養える</b> ようにしました。	120-129
		●保健⑤では、保健医療分野での日本人の世界的な活躍を取り上げ、 <b>我が国や郷土への誇りと愛着</b> を持てるようにしました。	151

## ○学習指導要領との関連

項目	検討の観点	「最新 中学校保健体育」の特色	具体例
教科の目標	学習指導要領の教科の目標に基づいているか。	●中学校学習指導要領（保健体育科）に示された目標に基づき、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成できるように、各章・各学習項目をつかむ（章とびら、きょうの学習、課題をつかむ）→身につける・考える（本文／実習、資料、コラム）→まとめる・振り返る（学習のまとめ、章のまとめ）のシンプルな <b>3ステップ</b> で構成しました。	教科書全体、口絵9-1「この教科書の使い方」
	体育や保健の見方・考え方を働かせた学びを実現し、資質・能力を育むための工夫がなされているか。	●表紙には、地域社会の中にあるスポーツや健康・安全に関わる人・物・出来事を散りばめました。表紙を眺めることで、生徒たちが生きている地域社会と保健体育科の学習の関係を思い浮かべ、体育や保健の見方・考え方を働かせながら学習を始めることができます。 ●すべての章のとびらには、学校や地域を俯瞰できるようなイラストを配置し、 <b>体育と保健の見方・考え方を可視化</b> し、その働きを意識しやすくなるように配慮しました。 ●体育と保健の見方・考え方を働かせて学習活動を展開するには、その <b>手がかりや伏線</b> が不可欠であるため、すべての学習項目の「課題をつかむ」では、 <b>生徒の気づきや思考を促し疑問を引き出す導入発問</b> を設け、問題意識を高めることができるように工夫しました。 ●学習過程の適所では、体育と保健の見方・考え方を働かせた <b>思考や表現の例</b> をキャラクターのセリフで示すことで、深い学びを実現できるように工夫しました。 ●各学習項目の最後の「学習のまとめ」では、学習過程で身につけた見方・考え方を <b>確認したり、次の学びにつなげたり、実生活や実社会で活用したり</b> することができるように配慮しました。	表紙 4-5, 16-17, 28-29, 58-59, 74-75, 96-97, 120-121, 132-133, 154-155 すべての学習項目の「課題をつかむ」 7, 11, 13, 20, 22, 38, 52, 112, 114, 124, 138, 147, 157, 171など すべての学習項目の「学習のまとめ」
	【知識・技能】 基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように配慮されているか。	●学習指導要領に示された基礎的・基本的な知識・技能は本文で <b>明瞭かつ簡潔に記述し、重要語句は太字</b> で示しました。また、本文を補足する適切な資料を豊富に掲載しました。 ●本時の学習課題を <b>きょうの学習</b> に明示し、知識・技能の確実な習得を図るようにしました。 ●学習上重要な語句を <b>キーワード</b> として明示し、 <b>学習の要点や重要概念を見出しに掲げ</b> 、学習内容の確実な習得に役立てるようにしました。 ●各章末の「章のまとめ」では、 <b>知識・技能の確認問題</b> で基礎・基本の習得を確認したり、 <b>学習の振り返り</b> で知識・技能の定着度を自己評価できるように工夫しました。 ●保健で新しく示された <b>ストレス対処と応急手当の技能</b> については、 <b>実習のページ</b> を設け、写真やイラストを参考にして確実に習得できるようにしました。また、 <b>心肺蘇生法の実習</b> では、 <b>ウェブサイト上で映像資料</b> を参照できるように配慮しました。	教科書全体 14-15, 26-27, 56-57, 72-73, 94-95, 118-119, 130-131, 152-153, 174-175 52-53, 112-115
	【思考力・判断力・表現力等】 思考力・判断力・表現力等が育成できるように配慮されているか。	●各章・各学習項目をつかむ（章とびら、きょうの学習、課題をつかむ）→身につける・考える（本文／実習、資料、コラム）→まとめる・振り返る（学習のまとめ、章のまとめ）のシンプルな <b>3ステップ</b> で構成することで、課題解決的な学習過程を通じて思考力・判断力・表現力等が育成できるように配慮しました。 ●各学習項目の冒頭の「課題をつかむ」では多様な導入活動（「意見を出そう」「やってみよう」「考えよう」「振り返ろう」「話しあおう」）を提示し、 <b>学習課題につながる気づきや思考</b> を促すことができるように工夫しました。 ●学習過程で身につけた <b>見方・考え方を働かせて</b> 、思考・判断・表現する学習活動「 <b>体育の窓</b> 」「 <b>保健の窓</b> 」を設け、 <b>情報活用能力や問題発見・解決能力</b> を育成できるように配慮しました。 ●各学習項目の最後の「学習のまとめ」では多様な表現活動（「生かそう」「話しあおう」「発表しよう」）を提示し、 <b>自らの思考の過程等を客観的に捉えたり、多様な考えを理解したり、集団としての考えを形成したり</b> して、思考力・判断力・表現力等を育成できるようにしました。 ●各章末の「章のまとめ」の <b>思考・判断・表現の問題</b> では、これまで学習したことをもとに筋道を立てて説明する表現活動を設定し、そのための記入スペースを設けました。また、 <b>学習の振り返り</b> で思考・判断・表現の学習活動を自己評価できるようにしました。	教科書全体、口絵9-1「この教科書の使い方」 24, 39, 91, 112, 129, 159, 169 すべての学習項目の「学習のまとめ」 15, 27, 57, 73, 95, 119, 131, 153, 175
資質・能力の育成	【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう力、人間性等が育成できるように配慮されているか。	●章のとびらでは、 <b>中学生の日常生活を中心に写真やイラストを随所に配置し、中学生が抱く疑問を掲げ</b> 、その章の学習課題を自分のこととして捉えられるように工夫しました。 ●学んだことを社会や生活に広げたり、深めたりすることができる「クローズアップ」を設けて、 <b>社会や生活との関わりの中で学んだことの意義を実感し、さらなる学びへの意欲を高める</b> ことができるように工夫しました。 ●「学習のまとめ」では、その学習項目での学習を踏まえて <b>自他の生活を見直したり、社会の在り方を考えたりする活動</b> を設け、 <b>学びを人生や社会に生かす力</b> の育成に資するように工夫しました。 ●各章末の「章のまとめ」の「 <b>学びに向かつて</b> 」では、学習したことをもとにして <b>生徒が自分の課題を見つけ、さらなる学びへの意欲を喚起</b> することができるようにしました。また、「 <b>学習の振り返り</b> 」で学びに向かう力、人間性等を自己評価できるようにしました。	4-5, 16-17, 28-29, 58-59, 74-75, 96-97, 120-121, 132-133, 154-155 54-55, 62-63, 104-105, 126-127 9, 11, 21, 23, 25, 39, 43, 45, 47, 51, 61, 79, 83, 85, 87, 91など 15, 27, 57, 73, 95, 119, 131, 153, 175

主体的・対話的で深い学び		●主体的・対話的で深い学びとなるように、各章・各学習項目をつかむ→身につける・考える→まとめる・振り返るのシンプルな3ステップで構成しました。	教科書全体、口絵9-1「この教科書の使い方」
	主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されているか。	●各学習項目の冒頭の「課題をつかむ」では多様な導入活動（「振り返ろう」「意見を出そう」「やってみよう」「考えよう」「話しあおう」）を提示し、これまでの学習を振り返ったり、これからの学習を見通したりすることで、 <b>主体的・対話的で深い学びに向かう構え</b> が作られるように工夫しました。	すべての学習項目の「課題をつかむ」
		●各学習項目の最後の「学習のまとめ」では、多様な表現活動（「生かそう」「話しあおう」「発表しよう」）を提示し、言語活動やグループなどで対話する場面を多く設けて、 <b>対話的・協働的に学ぶ</b> ことができるように工夫しました。	すべての学習項目の「学習のまとめ」
		●本文の内容をさらに詳しく学ぶことができる「ほり下げる」を随所に設けました。	6, 7, 10, 19, 20, 22, 25, 30, 31など
系統性・関連性	小学校、中学校、高等学校を通じて系統性のある指導ができるように配慮されているか。	●すべての章とびらに「小学校で学習したこと」「この章で学習すること」「高校で学習すること」を明示し、系統性のある指導ができるようにしました。	4, 16, 28, 58, 74, 96, 120, 132, 154
		●小学校での学習について「課題をつかむ」で振り返り、既習事項の想起を促すように工夫しました。	34, 48, 52本文, 84, 134,
		●関連する内容が学年や項目をまたいである場合には「 <b>関連マーク</b> 」を適所に入れ、体系的に指導できるように配慮しました。	12, 13, 20, 24, 38, 39, 50, 51, 61, 63, 66, 68-71, 76, 78など
	体育分野と保健分野の関連を図った指導ができるように配慮されているか。	●口絵「 <b>共に生きる</b> 」と「 <b>よりよい未来に向けて</b> 」では、体育と保健に共通するテーマを掲げて、両分野の関連を図った指導が充実するように工夫しました。	口絵5-6, 口絵7-8
	●両分野に関連する内容を扱う場合には <b>関連マーク</b> を設けて、体育分野と保健分野の関連を図った指導が充実するように工夫しました。	21, 24, 30, 32, 42, 60, 61, 66, 68, 70, 98, 171	
カリキュラム・マネジメントに配慮されているか。	●他教科と関連する内容がある場合には <b>他教科マーク</b> を設けて、 <b>教科横断的な視点</b> で学習を進められるように配慮しました。	30, 158, 171	
	●柔軟な指導計画や様々な教育課程編成に対応できる教材や題材を積極的に取り上げた <b>特集資料</b> や <b>クローズアップ</b> を設け、各校の <b>カリキュラム・マネジメント</b> に資するようにしました。	12-13, 54-55, 62-63, 68-71, 92-93, 104-105, 116-117, 126-127, 150-151, 172-173	
構成・分量・配列	すべての教師が指導しやすいように配慮されているか。	●各章・各学習項目をつかむ→身につける・考える→まとめる・振り返るのシンプルな3ステップで構成し、 <b>学習過程の流れを明確化</b> して、 <b>指導計画が立てやすく</b> 、 <b>指導経験の浅い教師も含めすべての教師が無理なくスムーズに指導</b> できるように配慮しました。	教科書全体、口絵9-1「この教科書の使い方」
	学習内容の構成・分量は適切か。	●学習指導要領に示された内容をもとに、 <b>学年別に構成</b> しました。	目次
	所定配当時数に照らして、学習内容の配列は適切か。	●学習指導要領に示された所定配当時数内（体育理論9時間、保健48時間）での指導が可能ないように、 <b>体育理論編9項目</b> 、 <b>保健編48項目</b> で配列しました。	目次
		●体育理論編、保健編ともに、 <b>各学年の学習項目数が均等になるように配列</b> しました。1学年当たり、 <b>体育理論編で3項目3時間</b> 、 <b>保健編で16項目16時間ずつ配列</b> しています。	

## 今日の課題への対応

項目	検討の観点	「最新 中学校保健体育」の特色	具体例
全ての生徒が学びやすい紙面	特別支援教育に配慮されているか。	●特別支援教育の専門家の協力を得て、紙面の細部にいたるまで検証を行い、すべての生徒が支障なく学習できるように配慮しました。	
		●資料は薄黄色の地色と罫線で囲み、本文とははっきりと区別できるようにし、全ての生徒が見やすく読みやすい紙面レイアウトになるよう工夫しました。	
		●見出しや文章は簡潔かつ確にまとめ、学年段階に応じて易しい表現を用いました。また、資料やイラストを多用して、視覚的にも理解できるように配慮しました。	
		●教科書バリアフリー法（障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律）の趣旨に基づいて、拡大教科書を発行します。	
	ユニバーサルデザインに配慮されているか。	●視認性の高いユニバーサルデザインフォントを採用し、可読性を高めました。	
		●色覚の個人差にかかわらず、すべての生徒が支障なく学習できるよう、色覚特性ごとの色の見え方の検証を実施し、カラーユニバーサルデザインの実現を追究しました。	
	個人差や人権、共生への配慮がなされているか。	●保健②では、心身の発達には個人差があること、男女が互いに尊重し、高め合える対等な人間関係をつくることの大切さが理解できるようにしました。	30-39
		●人物イラストの男女比率やそれぞれの役割に偏りのないように配慮しました。また、固定的なイメージで性を区別しないように配慮しました。	教科書全体
		●全体にわたり、高齢者や障害のある人、外国の人などのかかわりを写真やイラストで示して、多様な他者との共生・協働が大切であることを実感できるようにしました。	
	表記・表現は生徒の発達段階に照らして適切か。	●3学年から1・2学年の学習項目に変更された「健康な生活と疾病の予防」の内容は、生徒の発達段階に配慮して文章を平易にし、学習に取り組みやすくなるように配慮しました。	18-25, 76-93
		●小学校6年生以上で学ぶ常用漢字や難読漢字については、見開きのページごとに初出箇所にふりがなをつけて、文章の読解の段階でつまづかないように配慮しました。	教科書全体
国際理解・国際協力	オリンピック・パラリンピック教育について、適切に学習できるように配慮や工夫がされているか。	●口絵「オリンピック・パラリンピックに世界中の人が注目！」では、東京2020大会が開催されることを取り上げ、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高めることができるように配慮しました。また、東京2020大会開催後、最新の状況に合わせるため、写真の変更の申請を予定しています。	口絵1-2
		●体育理論③では、オリンピック・パラリンピックの歴史と意義、価値等が理解できるように工夫しました。また、オリンピック・パラリンピックを通じた国際交流の様子を紹介し、生徒の国際理解が進むようにしました。	120-129
	持続可能な開発目標(SDGs)との関連に配慮されているか。	●口絵「よりよい未来に向けて」では、SDGs(持続可能な開発目標)を取り上げて、保健体育の学習と関連づけて関心を高めることができるように配慮しました。	口絵7-8
		●保健⑥「私たちの生活と環境問題」では、持続可能な社会の構築のために中学生にできることを取り上げて、問題の改善に向けてできることを考えて発表する学習活動を提示しました。	170-171
情報化社会への対応	教育のICT化への配慮がなされているか。	●二次元コード(QRコード)および「web保健情報館」のマークを随所に掲載し、学習に関連する情報をウェブサイトで調べたり、動画で詳しく学ぶことができるように工夫しました。	1, 8, 21, 38, 39, 51, 53, 55, 60, 61, 79, 81, 91, 99, 103, 111, 112など
		●教科書と同じ内容のデジタル教科書を発行します。また、動画資料や学習支援機能が充実したデジタル教科書(教材)を発行します。	デジタル教科書, デジタル教科書(教材)
	情報活用と情報リテラシーへの配慮がされているか。	●携帯電話やスマートフォンの使用と睡眠・疲労、インターネットのウェブサイトに関連した犯罪被害の防止、情報モラルへの配慮等についての題材を取り上げ、コンピュータや情報通信ネットワークの適切な活用が理解できるように配慮しました。	24, 39, 92, 105, 161
		●保健⑥では「気象情報の適切な利用」を学習項目として新たに設け、健康に関連する情報を取り上げて指導できるように工夫しました。	158-159
		●運動やスポーツ、健康に関連するさまざまな情報の存在と、その活用方法を学ぶ教材を適所に配置し、情報化社会を生きる上で必要な情報リテラシーの育成に資するように工夫しました。	11, 55, 107, 116-117, 145, 159, 169
防災・安全教育	防災・安全教育の充実に向けた配慮や工夫がされているか。	●自然災害から命を守るための行動のしかたや災害による環境の悪化、災害時の情報の活用方法などを取り上げ、防災・安全について適切に学習できるように配慮しました。	106-107, 116-117, 168-169
		●地域の防災訓練に積極的に参加したり、災害に見舞われた人々を訪問したりしている中学生の様子を紹介し、生徒の防災・安全への意識が高まるように工夫しました。	口絵5, 29, 96
		●犯罪被害の防止のために自分自身でできる対策、社会全体で取り組む対策が理解できるようにしました。また、ネットワーク犯罪も取り上げて、防止対策の具体的方法を紹介しました。	39, 104-105
現代的な健康・運動課題への対応	現代のさまざまな健康課題や運動課題について配慮されているか。	●運動する子としない子の二極化・体力の低下 運動やスポーツには多様なかかわり方や楽しみ方があること、特に運動が苦手な人でも楽しめるスポーツがあることを取り上げ、自分の興味や関心、能力に応じて運動やスポーツを楽しむことを示しました。また、体力の高め方を解説しました。	8-9, 10-11, 12-13, 62-63「体力を高めよう」
		●道徳教育との関連 体育理論②では、適切な運動の実践によって、ねばり強くやり遂げる、ルールを守る、集団に参加し協力する、個々の違いを大切にすることといった態度が養われることを示しました。クローズアップ「悩みに上手に対処しよう」では、悩みやいじめを取り上げ、助けを求めたり相談したりする援助希求的態度や、友だちを気づかい援助する力を育成し、道徳教育に資するように配慮しました。また、保健③では、喫煙、飲酒、薬物乱用の害を取り上げ、規範意識を養えるように配慮しました。	60-61, 69「リスペクトプロジェクト」、54-55, 84-91, 92「見直そう! スマホの習慣」[飲酒の誘いの断り方]
		●共生教育の視点 口絵「共に生きる」では、書家の金澤翔子さんの題字や様々な人々の生きる姿を取り上げました。保健②では、男女が互いに尊重し、高め合える対等な人間関係をつくることの大切さが理解できるようにしました。また、体育理論③では、スポーツが民族や人種、年齢や性の違い、障害の有無をこえて人びとを結びつける力があることを取り上げ、共生社会の実現に資するよう配慮しました。用語解説では、「性意識の個人差」を取り上げ、体の性と心の性が異なっている人や、異性への関心がわからない人などいること、すべての人が自分らしく生きていける社会がめざされていることを解説しました。	口絵5-6, 38-39, 128-129, 178
		●心の健康の充実 思春期の心の発達と欲求やストレスへの適切な対処法について全14ページで扱い、心の健康についての内容を充実させました。また、クローズアップ「悩みに上手に対処しよう」では、悩みやいじめを取り上げ、助けを求めたり相談したりする援助希求行動や友だちを気づかい援助する力の育成に役立つ資料を豊富に掲載しました。	40-53, 54-55
		●キャリア養育 学習内容と関連する職業や機関とそこで働く人について紹介し、キャリア養育に対応した指導ができるように配慮しました。	9「職業としてのスポーツへのかかわり方」、17「中学生の給食を支える人たち」など
		●がん教育の充実 がんの予防から早期発見、回復までを全4ページ(2単位時間)で扱い、「特集資料」ではがんに関する資料を多く取り上げました。	80-83, 93「がんの進行と早期発見」[がんの3つの治療法]、151「免疫とがん治療」

## 印刷、造本、重量

検討の観点	「最新 中学校保健体育」の特色
印刷は鮮明で、製本は長期使用に耐えられるか。	●印刷は全ページカラー印刷です。鮮明でメリハリのあるデザインとしつつ、色彩は目に優しい中間色を基調にしました。また、環境に優しいインキと再生紙を使用しています。
	●製本は、3年間の使用にも十分耐えうる堅牢なものにしています。表面には強度を高め汚れを防ぐ加工を施しています。
重量は生徒の身体的な負担に配慮されているか。	●軽量で耐久性に優れた用紙を使用しており、教科書の判型拡大やページ増に伴う重量の増加を極力抑えるように配慮しました。